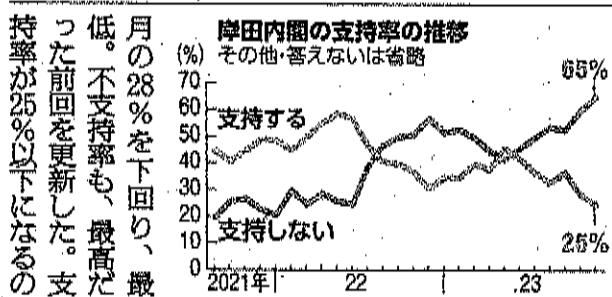


11/21(水)

岸田内閣支持最低25%

減税・給付「評価せず」68%

本社世論調査



は、民主党の野田佳彦内閣時代の最後の調査となつた12年12月上旬の21%以来。政党支持率は、自民27%（同26%）、立憲5%（同4%）、維新5%（同6%）。自民の支持率は、7月以来、5カ月連続で30%を切った。

これまでの岸田首相の仕事ぶりを見て、首相を「信頼できる」と答えた人は26%（同30%）にとどまり、「信頼できない」のは67%（同62%）に

のぼった。岸田内閣の副大臣と政務官の8人が相次いで辞任したところに、任命した首相の「責任は大きい」は61%で、「それほどでもない」の55%を上回った。減税と現金給付を打ち出した首相が考えたのは「国民の生活」と答えた人は19%だったのに對た人は19%だったのに對し、「政権の人気取り」と回答した人は76%に達した。減税と将来の防衛増税は「矛盾しない」との

「納得できない」は17%で、「納得できる」は17%で、「納得できない」が74%を占めた。少子化対策を拡充するための財源を、公的医療保険料に上乗せして徴収する案について「賛成」は22%で、「反対」は68%だった。

自民党国会議員7人の名前を挙げ、「今、だれが首相にふさわしいか」と聞いたところ、小泉進次郎元環境相16%、石破茂元幹事長15%、河野太郎元デジタル相13%の順だった。